

平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果報告

太宰府市教育委員会

平成27年4月21日に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果について報告します。なお、公表にあたっては、「学校の序列化」や「競争の激化」にならないように十分配慮しております。

1 全国学力・学習状況調査全般について ※文部科学省ホームページより一部抜粋

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象学年

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査の内容

① 小学校

国語、算数、理科及び児童質問紙調査

② 中学校

国語、数学、理科及び生徒質問紙調査

※学校質問紙調査（校長が回答）を併せて実施

4 調査の方式

悉皆調査

5 調査期日

平成27年4月21日（火）

6 調査を実施した学校・児童生徒数

小学校	学校数	児童数				
		国語A	国語B	算数A	算数B	理科
太宰府市（公立）	7	655	656	655	656	656
福岡県（公立）	745	43,375	43,365	43,376	43,370	43,386
全国（公立）	20,005	1,061,264	1,061,093	1,061,301	1,061,063	1,060,792

中学校	学校数	生徒数				
		国語A	国語B	数学A	数学B	理科
太宰府市（公立）	4	606	606	607	607	607
福岡県（公立）	351	41,982	41,992	41,973	41,988	41,989
全国（公立）	9,691	1,016,451	1,016,575	1,016,737	1,016,548	1,016,572

2 調査結果について

- (1) 学力調査結果の学力は「生きる力」を支える学力の一部です。
- (2) 太宰府市平均正答率は全国と福岡県の平均正答率と対比して公表しています。
- (3) 国語、算数・数学、理科の平均正答率

	小学校					中学校				
	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
太宰府市平均正答率	72.5	69.2	76.5	46.8	63.7	77.8	67.7	66.1	44.5	56.3
全国平均正答率	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
福岡県平均正答率	69.8	65.1	74.7	44.2	59.5	74.6	64.5	62.2	39.6	51.3

- ・小学校、中学校ともに全教科区分において正答率が全国平均を上回っています。
- ・国語、算数・数学、理科における主な結果は、これまでの調査と同様、主として「活用」に関する問題（B問題）では、記述式問題を中心に正答率の低い問題があります。

(4) 国語、算数・数学、理科の結果の概略

国語について

小学校、中学校ともに国語A、国語Bの正答率は全国平均を上回っています。

今後は、言語事項など基礎・基本を定着させる指導を行うこととともに、身に付けた言語事項を生活場面と関連付けて主体的に活用させるような学校での授業改善が求められます。

算数・数学について

小学校、中学校ともに算数・数学A、算数・数学Bの正答率は全国平均を上回っています。

今後は、基礎的な計算技能の習熟をしっかりと行い、その結果が正しいのか、自分で「振り返る」活動を仕組むことが更なる定着のために大切です。

理科について

小学校、中学校ともに理科の正答率は全国平均を上回っています。

今後は、理科で学習したことが日常生活の中でどのように活用されているか実感させる場面を授業で取り入れることが大切です。また、理科の学習用語もきちんと使えるようにすることが重要です。

3 調査結果の分析、活用について

- (1) 各小中学校において、「全国学力・学習状況調査の分析・活用」に関する学力向上委員会等を設置し、各学校の課題や取組を明確にします。
- (2) 太宰府市教育委員会として、学校訪問や校内研究推進等の支援を行います。また、各学校の学力向上のための取組に関しても支援を行います。
- (3) 児童生徒の調査結果については、全国、福岡県及び太宰府市の結果分析した情報を各学校に提供し、各学校が学力の向上の取組の重点を明確にできるようにします。